

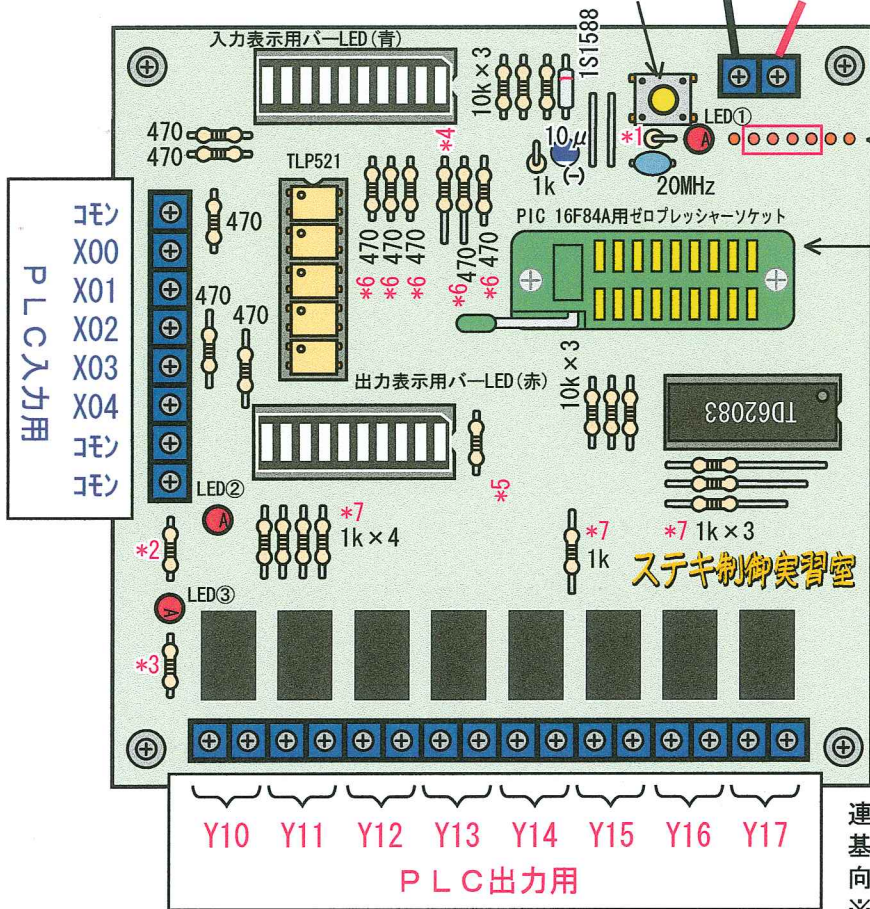
ステキPLC専用基板 バージョン4.38 組み立て解説

【組み立て順について】

リセットSWの左側のジャンパー線(抵抗の足の切れ端等を使用)から順にはんだづけしてください。
次に抵抗・ダイオード・ICソケットの順に背の低いものから付けていきます。

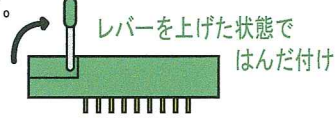
各ICソケットは、図を参考に
切り欠きの向きを合わせてください。

リセット SW 電源 (-) (+5V)



- セラロックの左右のピン極性は
ありません
- ダイオード 1S1588は線のある方
を上向きにします
- 電解コンデンサは図の下の方が
マイナス(足の短い方)です

- ゼロプレッシャーソケットは、図のような
18ピン・20ピンタイプと、幅の広い24ピン
タイプが使用できます。取付け穴は余分に
あけてあるので左端に寄せて取付けます。
- この図のタイプ(緑色)のゼロプレッシャー
ソケットについては、レバーを上げた状態
(開放状態)で、はんだづけすると良いよう
です。



- 単独LEDは図のAの方が、アノード
(足の長い方)になります

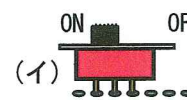
バーLEDの取り付けは、切り欠き
部分が図のように右上になるよう
に差し込みます。

連結式の端子台は先に連結しておいてから
基盤にセットします。基盤に挿すときには、
向きを前後間違えないよう注意して下さい。
※線挿入側を外向きに！

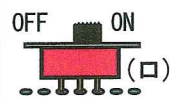
- *1: 電源接続灯(LED①)とセットで使用
- *2: 操作電源灯として、LED②を点灯させる場合にLED②とセットで使用
- *3: 操作電源灯として、LED③を点灯させる場合にLED③とセットで使用
- *4: 操作電源灯として、入力表示用バーLEDの一番右端を使用する場合に配置 *6, *7参照
- *5: 操作電源灯として、出力表示用バーLEDの一番右端を使用する場合に配置 *6, *7参照
- *6, *7: 入出力表示バーLED用の電流制限抵抗です。抵抗値は使用するLEDによって変更
(赤: OSX10201-R)の場合は1kΩ、(青: OSX10201-B)の場合は470Ω

操作電源(ステキPLCを動かすための電源)用
スイッチ取付穴は、使用するスイッチおよび、
お好みの向きに合わせて選んでください。

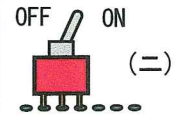
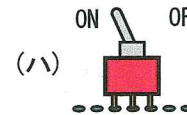
スイッチを
左側にして
ONになる配置



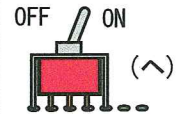
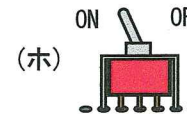
スイッチを
右側にして
ONになる配置



スライドSWの場合



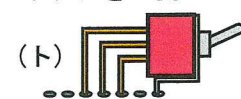
トグルSWの場合



トグルSWの場合
(固定用足つき)

※(ホ)・(ヘ)の場合、基板パターンの都合上、固定足側に
電源+5Vがかかっているの、十分ご注意ください。気にな
る方は固定足部分の基板パターンをカットして下さい。

スイッチを上側にしてONになる配置



トグルSWの場合
(固定用足つき横型)

本解説およびホームページ上の内容は、予告なく変更する場合があります。
また、それらの情報がいつも最新で正しいとは限りません。内容や運用した
結果等において不具合や不利益が発生しても当方では責任を負いかねます
ので、最終的には関わる方々ご自身でご判断ください。
記載内容の無断転載および商業(販売)目的での利用は固くお断りします。